

謹賀新年

- 目次 -

- P1** 巻頭言
- P2** 公益社団法人理事新年あいさつ
- P7** 活動報告① 関東甲越ブロック協議会
女性鍼灸セミナー
- P8** 活動報告② 東洋療法推進大会 in 岡山
- P13** 活動報告③ 県民公開講座～鍼灸祭り～
- P14** 今後の予定

巻頭言

会長 齊藤 曠



迎春

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、素晴らしい新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

平素は、当会運営に対しまして、ご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、天候不順な一年でありました。春は例年になく大雪、夏から秋にかけては、全国的に台風被害が多く発生し、また、デング熱、エボラ出血熱も記憶に残るところです。

当会においては、皆様のご協力により昨年5月新事務所に移転し、これも会の大きな前進の一步と考えます。これを機に、皆様が大いに事務所を活動の拠点として、利用していただきたいと願っています。

また、全日本鍼灸マッサージ師会では、かねてから検討してきた、携帯用本人確認証の発行に向けて準備中です。これは、無資格者との鑑別に役立つものと期待しております。

本年も、皆様の健康とご活躍を祈念申し上げ、益々のご繁栄をお祈りいたします。

公益社団法人 理事新年挨拶

【会長】 齊藤 曠 会全体の総括

会員の皆様、あけましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。

本年も、皆様が公益社団の会員になってよかったと思える活動をめざして進めていきたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

【筆頭副会長】 石川英樹 法制部長 渉外部長 保険担当 無資格担当

あけましておめでとうございます。

今年で千葉県師会の理事になってから、ちょうど10年目を迎えます。

会員の皆様のご協力のお陰で、本当に様々な事にチャレンジさせて頂いた10年でした。

その活動の中には上手くいったものもあれば、途中で頓挫してしまったものもありますが、大局的に見ればその成果が徐々に現れてきたのも確かです。しかし会員の皆様には、何がどう変わったのか実感できない方も多いためと思われまます。

そしてそのような虚無感や閉塞感が蔓延すれば会は衰退していきます。

それを改善する為にも、会員1人1人が声を上げて下さい！

皆様の想いをぶつけてください！こちらまで < h.ishikawa@hariqm.com >

その熱い想いを基に、これからも鍼灸マッサージの未来を輝かせるための活動をしていきます。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

【次席副会長】 染谷雄一 財務部長 千視協担当 事務所管理責任者

とどろきネット管理担当

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、当会運営に皆様のご協力をいただきましてありがとうございます。

本年は、鍼灸あん摩マッサージ指圧を多くの方に知っていただけるよう努力したいと思えます。

業界に関わる私達も、もっと知識を深めて県民の方々の健康増進に少しでも貢献できるよう働かせていただきたいと思います。

会員皆様のご協力もよろしくお願いいたします。本年度もよろしくお願いいたします。

【常務理事】 元吉正幸 学術部長 日鍼会・柔整師会担当 スポーツセラピー担当

東京オリンピックの開催が決まり、私たちはそれをどう応援できるのか。

未来に向かって進んでいることは、周りを見渡してみれば肌で感じる。

スポーツ選手のスポーツ医学やトレーニングに関する事なども、現在は非常に発展し、スポーツ選手の成績につながってきている。

このようなことはどんな学問や研究も、今までのことが十分にわかっていないと、どのようなところが発展したのか、またその工夫がわからない。

今年も今現在の周りを見渡しなが、肌で感じたことを、話題にしながら、学術の研修を創り上げていきたい。

将来鍼灸マッサージは国際的に益々認められていくことだろう。そのために、しっかりと伝統技術を見につけ、日本の鍼灸マッサージの未来を共に創り上げながら、東京オリンピックを応援していく、土台の1年としたい。

【常務理事】 矢島 実 保険部長 渉外担当 新卒者の相談・育成

治療院経営アドバイス担当

明けましておめでとうございます。

昨年は、保険の取り扱いにおいて会員様と保険者側のトラブルがあり、何度か健保協会や後期高齢に行きました。

一人一人が倫理観を持って行動することが、今年こそ大事な年だと思っております。

ですので、より多くの研修にご参加頂き、自己精進していきましょう。

本年もどうかよろしくお願ひします。感謝、ありがとうございます。

【常務理事】 川端隆治 組織部長 保険担当 千葉学会・鍼灸まつり担当

新年あけまして、おめでとうございます。

昨年は、組織部長としてあちこちの地域にお邪魔をさせていただき、交流を深めさせていただきました。やっと組織部長として認識されてきたかなと思える一年でした。

しかしまだまだ伺っていない地域や、お会いしていない先生もたくさんいらっしゃいます。

一人でも多くの会員さんと会話をし、たくさんの意見をくみ上げて組織に反映できたら、もっといい組織になると考えております。

私も自身の治療院をしながらの活動となりますので、至らない点も多いかと思いますが本年も一生懸命、努力してまいりますので、皆様のお力添えのほど、よろしくお願いいたします。

【理 事】 米井昭夫 マッサージ部長 視覚障害担当 点字印刷担当 総務担当
千葉学会・鍼灸まつり担当 とどろきネット担当

会員の皆様、新年おめでとうございます。

昨年中も大変お世話になりました。今年も宜しくお願いいたします。

会員の皆様のため、微力ながら今年も頑張りますので、ご協力のほど宜しくお願いします。

会報や各種発送物には重要な連絡等が書かれておりますので、ご多忙のこととは思いますが、必ずお読みください。

そのうえで、無関心にならずに積極的なご参加を重ねてお願いいたします。

2980円の無資格業者はますます増え、それらにかかる人々もたくさんおります。かれらに負けないだけの魅力ある治療院作りを心がけましょう。

【理 事】 平岩恵子 鍼灸部長 青年・女性担当 千葉学会・鍼灸まつり担当

新年おめでとうございます。

早くも平成27年となり、新たな気持ちで目標を決め頑張りたいと思います。

昨年は女性理事先生方と協力してセミナーをやれたことは一つ昨年の目標を達したと思います。今年も会員様にとって臨床で役立つことを企画したいと思います。

会員様の治療向上の為に、皆様が参加したいと思われるような役立つ企画を今年も考えて行きます。

皆様のご参加の協力をよろしく申し上げます。

今年もよろしくようお願いいたします。

【理 事】 室田 智 スポーツ支援部長 スポーツセラピー担当

新年あけましておめでとうございます。

昨年は皆様方に助けて頂きながら、頑張ってきました。

本当にありがとうございます。

本年は3月に講習会の講師を担当させていただくことになりました。

「スポーツと鍼灸」の関係を深め、皆様方が苦手としている分野のスポーツ治療をはり、きゅう、テーピングなどを使用して身近なものに出来るようお手伝い出来ればと考えております。

本年も宜しくお願い申し上げます。

【理 事】 椎名喜代美 総務部長 青年・女性担当

明けましておめでとうございます。

新年にあたりまして、理事活動について、一言、述べさせていただきます。

理事に就任いたしまして、9カ月、多くの先生方と知り合い、私なりに勉強になった点が、多々ございます。

理事活動は、良いことばかりではありません。忙しいし、大変な時もございます。ですが、その中で、業界としての発展は何か？ 会員、一人一人の先生方にとって良い方向はどちらか？ という視点で、動いてきたつもりしております。

どうか会員の皆様方におかれましても、鍼灸マッサージ師会の活動にご理解いただき、共に、活動していただけたらと願います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって、良い年になりますように……。

【理 事】 濱田将光 高齢者支援部長、介護予防担当

新年あけましておめでとうございます。

3月22日(日)に、千葉県師会として初めての地域健康づくり指導者研修(初回者)を行います。今回は単位を5単位取得できるものとなっています。

27年度には介護保険制度の改正もあり、最新情報を提供していけるような内容を考えております。会員の皆様のご参加をお願いいたします。

また、地域包括ケアシステムへの取り組みをされている先生方との協力体制も強化していきたいと思っております。どうぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

訪問マッサージ、介護予防教室などを通して、点と点が線で結ばれ、医療関係、介護関係と密接な関係が結べる1年になることを願います。

【理 事】 西村亮輔 広報部長 IT・ホームページ担当

新年あけましておめでとうございます。

昨年1年間、広報部長ということで、会報の編集やインターネット、その他広報に関する業務を担当させていただきました。

今年も会報並びにその他広報に関する業務を担当させていただきます。

近年、IT技術を取り巻く環境が、大きく変動しています。それに伴い、広報のあり方も、今後、大きく変化していくものと思われまます。

まだまだ若輩者ではありますが、今年も、会のため、一生懸命務めさせていただきますので、宜しくお願いいたします。

【理事】 光田幸子 青年・女性部長 広報担当 千葉学会・鍼灸まつり担当

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には大変にお世話になります、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

特に昨年は女性鍼灸セミナーを開催することができ、わずかながらも前進ある年でした。本年も地域と女性が更に活躍できるよう働いて参りたいと思います。

介護、医療も大きく変わる年となります。患者様との誠実な関係はもちろんですが、他業者との連携と信頼関係が大事になります。積極的に動けば必ず実りある結果があります。

本年も会員の皆様が発展されますように願い、努めて参ります。

【監事】 日向正彦

新年あけましておめでとうございます。

この任についてから当会のことをもっと知らなければと思い、積極的に理事会などに参加していますが、理事の方達は当会または鍼灸マッサージ業界を良くしようと、仕事を持ちながら色々とアイデアを出し、検討し、活動しているのを知ることができました。

理事のアイデアだけではなく、会費を納めている会員の皆様からも、この会に入っているメリットとしてもっとこういう役に立つことをやってほしいとか、こういうサービスもあれば会員のために役立つのではないかなどのアイデアを出してもらい、そのための予算をこっちに回してほしいとか、この活動にこの予算は使いすぎではないかなど、会費が適正に使用されているか一緒に考え活動しながら、目を光らせて、より良い会にしていければと思います。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

第67回 関東甲越ブロック協議会 新潟大会

7月20・21日にチサンホテル&コンファレンスセンター新潟にて、第67回関東甲越ブロック協議会新潟大会が行われました。

第1日目は、開会式が行われた後、新潟青陵大学大学院教授の碓井真史先生による市民公開講座が開かれました。碓井教授は心理学がご専門で、「心と健康～健康になるための心と体の作り方～」をテーマに、お話を頂きました。

その後のシンポジウムでは、「ここまでできる鍼灸マッサージ師の役割」をテーマに、「かかりつけ鍼灸マッサージの役割」について、全日本鍼灸マッサージ師会学術局長の小川真吾先生、「PTと鍼灸マッサージ師」について埼玉鍼灸マッサージ師会会長の小野彰先生、「2015年介護保険制度改正にむけて」埼玉鍼灸マッサージ師会の長峰芳文先生からお話を頂きました。

第2日目は、各師会から議題が出され、「保険取扱い」や「地域包括ケアシステム構築」「会員減少への対策」などについて、協議会が行われました。

関東甲越から、たくさんの会員の方々が来られ、情報共有を行い、親睦を深めた大会となりました。



女性鍼灸セミナー

「安全な灸頭鍼」をテーマに、講師に知久京子先生をお招きし、8月3日、県師会事務所にて女性鍼灸セミナーが開かれました。

今回、初の試みとして鍼灸セミナーを女性限定で開催いたしました。

当日猛暑にもかかわらず19名の方が参加され、いつもとは違う雰囲気と緊張の中、講義が開始しました。

知久先生は盲学校講師と、御自身の治療においても「安全」をテーマに研究、治療されており今回は安全な方法を身につけて自信をつけて欲しいと、座学、実技を熱心にご指導して頂きました。

【腰痛】腎ユ、大腸ユの灸頭鍼を中心に施術 症状に合わせ以下を使用

- ・骨盤上縁付近の自発痛、仙骨部、背部に圧痛は脊柱起立筋緊張による→肝ユ、隔ユ
- ・崑崙に圧痛は坐骨神経通→委中、承山、コウユ
- ・大腿痛→膝関節の治療
- ・鼠径部（陰部に近い中央部付近）→上リョウ、次リョウ

【肩こり】肩中ユ、肩外ユ、こうこうなどの灸頭鍼を中心に症状に合わせ以下を使用

*安全を考慮し肩井など事故の可能性が高い経穴は使用しない、また患側を上、側臥位で施灸下部健側に置鍼、吸い込まれる鍼、眠ってしまう患者など注意すること

- ・頭痛（眼底痛）→上天柱
- ・耳鳴り、突発性難聴→エイ風、内耳点（耳つぼ）
- ・肩頸部のヘルペス→発疹前の痛みに神経根に置鍼
- ・眼病→清明、承泣、糸竹空、太陽、眉中
- ・眼瞼痙攣→痙攣部位または耳穴の眼点、二重中央あたりにマグレイン：かぶれ注意

【その他、各傷病について】

膝関節・・・熱感、腫脹のないときに限る、膝眼、とく鼻、血海

※どうしてもその時は遠隔部位に施灸

脊柱管狭窄症・・・大腸ユ、委中、三里、陽陵泉

※痛みの強いものは効果あり、しびれには効果弱

難聴・・・二年までの治療は効果あるが ※それ以上は効果弱

子宮内膜症・・・陽陵泉、中極、次りょう、血海と三陰交は出血の周期をさけて使用

潰瘍性大腸炎・・・腹部に施灸はせず張りにパッチ等使用+陽陵泉、大腸ゆ

パーキンソン症・・・振戦→百会、筋硬直部位に刺鍼

【灸頭鍼の補瀉】

急性期一瀉法・・・大きな艾で一気に燃焼、燃え終えた後は放置し冷やす

慢性期一補法・・・一定温度を保つように交互に点火していく

【その他の灸治療】

線香灸・・・至陰（おねしょ）百会、上星（鼻炎）全指井穴（不眠、免疫力）

綿花灸・・・顔のしみ、アトピー性皮膚炎

棒灸、電気鍼、火鍼など、以上が座学での主な内容です。

「安全がテーマですので繊細な治療を！」と実技では一人一人の手元を見ながらアドバイスして頂き、治療時の配慮や患者さんとの関係での配慮など細かな点から難病治療までと大変に内容の凝縮したセミナーとなりました。参加者も先生の熱心な指導に感謝の感想が多く寄せられ女性鍼灸セミナーは盛況に終えることができました。



第13回東洋療法推進大会

10月19・20日にホテルグランヴィア岡山において、第13回東洋療法推進大会が行われました。

本年は「東洋療法と癒しの心～世界に広げたい日本の鍼灸マッサージ～」をテーマに開催されました。

～各分科会の報告～

【在宅医療マッサージ調査・研究報告】 報告者：川端隆治

-1- 在宅医療マッサージの国民からの期待は大きいですが、今の状態では不明瞭な部分が多すぎる。地域包括システムの確立が急務であり、深く入り込んでいかなければならない分野。在宅医療マッサージの効果に関して、具体的な研究報告が現状では乏しい。

在宅医療マッサージの主な対象疾患

- 1、脳血管障害 35.6%
- 2、パーキンソン 7.5%
- 3、変形性膝関節症 5.8%

要介護2から5の利用者が、在宅医療マッサージの対象となっていることがほとんどである。身体の治療や精神面のケアなど心身状態の改善・維持に期待。

-2- 認定訪問マッサージ制度の概要及び制度の活用方法と業務の実際

血圧測定・マッサージ・ROM 生活の中の段差などを調べ、適切なアドバイス。医療マッサージの評価・報告書が書けるようになると、医療関係者との会話がスムーズになる（共通言語を使う）。本人・家族の希望を聞き、長期・短期の目標を設定する。PTは毎日必ず報告書を提出しているようです。

-3- 保険局から

厚生省に陳情している内容。訪問施術制度を新たに設ける。同意書発行抑止圧力の軽減『保険者からの医師への圧力』。リハ職としてのあ摩指師として訴えていく。介護保険への医療食としての参入を目指す。

今回は、消費税分のプラス改定となったが、判断材料があまりにも少なく保険局としても非常に憂慮している。

次回の改定時は厚生労働省より、より明確な資料の提示を支持されているようで、それがなければ増税分プラス改定は見送られる見通し。



【無免許者との差別化方策の方向性】 報告者：石川英樹

昨今は無資格のマッサージが横行し会員からだけでなく、市民からの苦情も増えてきている。しかし法的な問題もあり、私達が適切だと思う取締りはなかなか難しいのが現状です。

無資格者施術は確かに危険なので、全鍼師会としても行政に働きかけは続けていきますが、市民から見れば誰が国家資格を持っているのか分かり難い状況を改善しなければなりません。

その為には会員の皆様の施術所には安心安全マークを掲げて頂きたい。また現在、厚労省と国家資格所持者の携帯免許についても協議中です。

これが正式に認められれば是非皆様に取得して頂き安心安全マークとともに、国民に普及して頂きたい。

無資格の取り締まりは当然ですが、先ずは会員一丸となり安心して安全な施術所のアピールから始めましょう！

【かかりつけ鍼灸マッサージ師の役割】 報告者：濱田将光

現在、医師会では「かかりつけ医」制度を積極的に推進していますが、我々も「かかりつけ鍼灸マッサージ師」のポスターなどを活用し、鍼灸マッサージ師版かかりつけ医制度を構築し、地域医療を担う専門職としての広報が必要です。

ここでは実際に「かかりつけ鍼灸マッサージ師」として活躍している以下の先生方に、「治療・予防・連携・相談」のキーワードをもとに地域に密着して事業展開をされている事例をお話しいただきました。

松浦浩市先生（岡山県鍼灸マッサージ師会会長）…（実践例）

榎本恭子先生（川崎市鍼灸マッサージ師会）…（実践例）

長嶺芳文先生（地域健康づくり委員長）…（予防・連携の仕組み）

沢田昌子先生（神奈川県鍼灸マッサージ師会）…（相談内容アンケート）

松浦先生、榎本先生とも、多職種連携の取組みを話されました。多職種との信頼関係のとり方、地域活動の仕方、ネットワークの作り方、症例を挙げての連携の仕方など、たくさんのお話を聞くことが出来ました。

また、お二人ともこちらから医師などへ紹介するばかりではなく、医師から紹介を受けるなど、医師・ケアマネなどとの連携が大変よくとられていて、お互いの信頼関係を伺うことが出来ました。

長嶺先生からは、地域包括支援システムの中での我々の連携の仕方、我々の役割、また、好事例の作り方など、資格の中だけにとらわれのではなく、そのほかにも出来る事など、たくさんのお話をいただきました。

沢田先生からは、患者からの相談内容、疾患別の相談内容などの報告をしていただき、我々はどう応えていくべきかを話されました。

大変有意義な話を伺え、貴重な時間を過ごすことが出来ました。

4名の先生方の事例をもとに自分なりの形を築いていけたらと感じました。

【地域で健康づくりの指導者となるためには】 報告者：濱田将光

～地域包括ケアシステム（講演）・地域健康づくり認定審査～

わが国では、将来的な人口減少や超高齢化に向けて継続可能な社会保障制度を確立するための法整備が最重要課題の一つとして挙げられています。

そのため、地域全体で多職種が連携しながら支えあう仕組み作りが急がれています。

その仕組みである、「地域包括ケアシステムの構築」の事例として、岡山市介護福祉課の担当者から講演をいただきました。

そのあと、京都府鍼灸マッサージ師会の木村公一先生より、介護予防教室の活動報告がありました。

とてもバイタリティーがあり、大変見習いたいお話でありました。

引き続き、私も、「顔の見える関係会議」参加の報告と、柏市での「在宅医療・介護多職種連携の取組」の話を見せて頂いてきました。

岡山市では地域包括ケアシステムの中では、鍼灸マッサージ師の位置づけがされておらず、活用についても考えていないようで、私たちの努力次第であるようなお話でした。

柏市でもそうであり、全国的にも同様であるのが実情かと思えます。

個人レベルで頑張っている先生方はたくさんいますが、団体として位置付けされておらず、団体として携わっていけるようになる事が課題であるなど感じました。

【一般口演】 報告者：齊藤 曠

26年10月19～20日、岡山県において開催された。私は一般口演について報告します。

今回は出題者が多く定時より30分早く始まりました。10題中、スポーツ関連3、介護予防1、かかりつけ鍼灸師1、鍼灸5でした。その中で、次の2題について記します。

1、かかりつけ鍼灸マッサージ師の必要性と役割（神奈川県、榎本先生）

現在、65歳以上の人口は3000万人を超え、2042年には3900万人のピークを迎え、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想され、他国に例を見ない状況である。

- 1、治療__伝統医学により、治療方針を共に考え、心身共に向き合う
- 2、予防__介護予防教室、健康セミナー、子育て支援などの開催
- 3、連携__地域医師、基幹病院との連携、関係行政
- 4、相談__川崎市「まちかど相談室」医療、福祉相談窓口実施

このように、治療から相談まで安心して受け入れられている現状の報告でした。

2、手掌部の多汗に対するツボ治療の発見（青森県、福井先生）

手掌部の多汗では、書類が濡れ、職場でいやな顔をされたり、握った手を引き込まれたり、日常的に悩んでいることにツボ療法が有効、多汗症の概要__全身性と局所性がある、全身性＝これには中枢性とホルモン性

イ、体温調節中枢のある視床下部が障害された場合、

ロ、ホルモンの異常による場合、

ハ、女性では、産後や更年期障害時に、ほてりと共に多汗が見られる、

局所性＝足底や手掌に多く見られ、思春期頃から出始め、神経質な女性に多い。

鍼治療はステンレス鍼18号40mmを督脈陶道穴に置鍼、深さ20mm、置鍼時間1～2分。考察__多汗が改善された機序として、陶道穴—脊髓—第二交感神経節—節前線維—節後線維—汗腺、と刺激が発汗コントロールとして働くのではと考えている。経過として、殆んどどの患者は改善されたとの報告でした。

【社会保障制度抑制トレンドの中での鍼灸マッサージ】 報告者：矢島 実

平成26年の消費税8%の改定時に、はじめて診療報酬があがった。ただし、平成27年10月の消費税10%に向けて、厚労省からの要望データ数100件に対して7件しか集まらず、施術所の経費の実態の根拠がないので、報酬アップがなくなる可能性がある。会員の協力が不可欠である。「保健推進協議会での要望」を提出している。

「療養費」

- 1 一部負担金でかけられる制度
- 2 訪問施術制度の創設（*現在は計画的往診が認められない保険者もあるため）
- 3 厚労省から出ている通知通りの基準で取り扱う

「介護保険に関する要望」

- 1 鍼灸師を機能訓練指導士に…（*現状では、鍼灸師は「補助者」になっている）
- 2 鍼灸マッサージ師を訪問資格要件に入れて欲しい…（看護師やPTと同じ要件に）

「今後10年の流れ」

現在、PTの合格者が1万人近くになり、余っている状態になっている。その為、PTが介護保険における開業権を持つと、訪問マッサージの制度自体が、持続不可能になる可能性も考えられる。そのためには、議員などへの献金はじめ、エビデンスの発表、ドクターとの連携が必要になってくる。

PTが介護保険への開業権獲得時にマッサージ師も同様の権限を得られるようにする。確立的には1000分の1程度。鍼灸師が、介護保険における機能訓練指導士に入れるようにする。確立的には100分の1程度。

いずれも安心していられる状況ではないので、自費への移行・介護保険への参入、また政治的要請を考えていく必要があるとの事です。

【美容鍼灸とは】 報告者：矢島 実

人体の外見美に対する評価を高めることを目的に一義的に行うもの。

「健康にもとづく自然美」たるみ・小じわ・肌荒れ・くまに対する依頼が多い。

「どのように行うのか？」

経穴と表情筋・皮下に対して刺鍼する。（抗重力筋に行く）

ボトックス注射を顔にしている人がいる。→重力に協力している筋に注射

エステ業界が行っていることをみると、体に害があるようなものが多く、それに対して美容鍼灸は安全健康なので、今後の需要の高まりが大きい。

「最近の傾向は？」

たるみを取るには、皮下にたくさん早くダメージを与えて、再生を促すことが、お肌の活性化につながる。沢山の鍼を打つことが現在のスタイルである。

「どんな鍼をどんな風に使うのか？」

セイリンの鍼で、鍼管は使わないで、5分鍼、3番で全体に行く。鍼刺は顔に100本くらい打つ。治療費は、1万円。美容鍼灸は2万円。ホテルでも1万5千円。

「受けた感想」

自分が打ってもらった感想では、せいめいは少し重くて痛い感じだったが、他の部位はそれほど痛みは感じない。施術後は、目が明るくなった感じがあり、現代人には向いている気がします。

県民公開講座～鍼灸マッサージ祭り～

9月7日（日曜日）に千葉市民会館にて、「健康な体をつくる。鍼灸マッサージとともに」をテーマに、県民公開講座～鍼灸マッサージ祭り～を開催いたしました。

第一部講演には、千葉県ヤクルト販売株式会社、広報室係長で管理栄養士・食育指導士の原喜子さんに講演をしていただきました。

人間の消化吸收の仕組み、腸の働きと健康、便は健康のバロメーター、腸内細菌と健康などのお話を分かりやすくお話しいただきました。



第一部と第二部の間に、鍼、マッサージの無料体験コーナーがもうけられ、多くの参加者の方に、鍼、マッサージを体験していただきました。

そのあと、協同組合による、福引券抽選会が行われました。残念ながら、会場に参加されている方の中からは、当選者はいませんでした。会場はとても盛り上がりました。



第二部講演では、日本心理学会など、数多くの理事を歴任され、早稲田大学名誉教授の春木豊先生の講演が行われました。

「心と体の健康の為に～呼吸法・筋弛緩法・姿勢訓練・瞑想法～」をテーマに、実際に、会場の参加者の方を交え、呼吸法・筋弛緩法・姿勢訓練・瞑想法を行いました。

参加型の講演会に、参加者の方々も、とても興味深そうに参加されていました。

来年も、多くの県民の方に参加いただけるよう、邁進していきたいと考えています。



今後の予定

日程	内容	場所
2/8(日)	鍼灸マッサージシステム説明会 10時から	千葉県鍼灸マッサージ師会 事務所
2/8(日)	第2回学術研修会 13時から	千葉県鍼灸マッサージ師会 事務所
3/22(日)	地域健康づくり指導者研修 in 千葉 (初回者5単位)	千葉県鍼灸マッサージ師会 事務所

※以上の予定につきましては、それぞれ書面をもって通知いたします。
ご不明な点は事務局(tel043-301-3489)までお問合せ下さい

千葉大学東洋医学自由講座

日程	内容	講師
1月15日(木)	金匱要略「中風・歴節病の脈証ならびに治」[第五]	三猪忠道
1月29日(木)	金匱要略「血痺・虚劳病の脈証ならびに治」[第六]	勝野達郎

※千葉大学東洋医学自由講座は、医師や薬剤師の先生も参加される講座です。貴重な機会ですので、ふるってご参加ください。詳しくは事務局(tel043-301-3489)までお問合せ下さい

第2回学術研修会

講師:高橋千恵美(チームアスレチックミズノ所属)

演題:アスリートのための栄養学

高橋千恵美(旧姓市橋)さんはインターハイ、国民体育大会で活躍し1992年はジュニアアジア・インド大会で3位、2000年のシドニーオリンピックの10000メートル競技に出場15位という成績を残しています。

2005年には河口湖マラソン3位となり、日本のトップランナーとして長きにわたり選手生活を送りました。

競技引退後は出身高校の職員として、後進の指導に当たりましたが、栄養の重要性を感じ、日本オリンピック委員会がおこなっているキャリアアカデミー制度を利用し2009年に聖徳大学に入学、卒業後は管理栄養士としてアスリート支援をおこなっています。

今回は長い競技生活が送れた秘訣、スポーツ障害の予防法、コンディショニングの重要性、特に高橋さんは当会会員の鈴木克人先生の治療を受けており、その様子などもお聞きしたいと思います。

そして現在のスポーツ栄養学の知識を、基礎から応用まで伝授していただきます。素晴らしい機会であると思いますので、ぜひご参加をお願いいたします。



発行 公益社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会
〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿 1-8-11
千葉新宿ビル 3階
Tel.043-301-3489 Fax.043-301-3499
<http://www.harikyumassage.jp>

発行責任者 齊藤 曠
編集責任者 西村亮輔

千葉県鍼灸マッサージ協同組合

- 鍼灸マッサージ師が活躍できるように組合員を援助いたします。
- 組合に入って助け合いましょう。充実の制度で働きやすい鍼灸マッサージ治療院を作ります。
- 困った事や悩んだ事は、組合員で相談して解決できる組合を目指します。

TEL043-301-3489 FAX043-301-3499